



外国出張報告書

平成 27 年 9 月 17 日

1. 出張国名 モンゴル
2. 出張月 平成 27 年 8 月
3. 出張目的 屋内型エビ生産システム (Indoor Shrimp Production System:ISPS) フォローアップ調査
 :C

4. 成果の概要

屋内型エビ生産システム (Indoor Shrimp Production System:ISPS) の共同開発者として、今年夏から本格的にエビの生産が始まったモンゴルエビプラントの視察と現地関係者との情報交換を行った。最初に、JICA の管轄である日本モンゴル人材開発センターを表敬訪問し、モンゴルにおける経済状況とビジネス環境等についての情報収集を行った。モンゴルのエビ生産プラントは、ウランバートル郊外に設置され、年間 8 トンの生産が可能である。現状では日本国内(新潟県、妙高)より規模が小さいが、基本的に日本の場合と同様な技術を用いており、数年後(2019 想定)に規模を拡大することが予定されている。現地企業の社長は、安全・安心な食糧をモンゴル国民に供給し、国の経済発展・新しい製造業の確立に貢献したいとの考えであった。